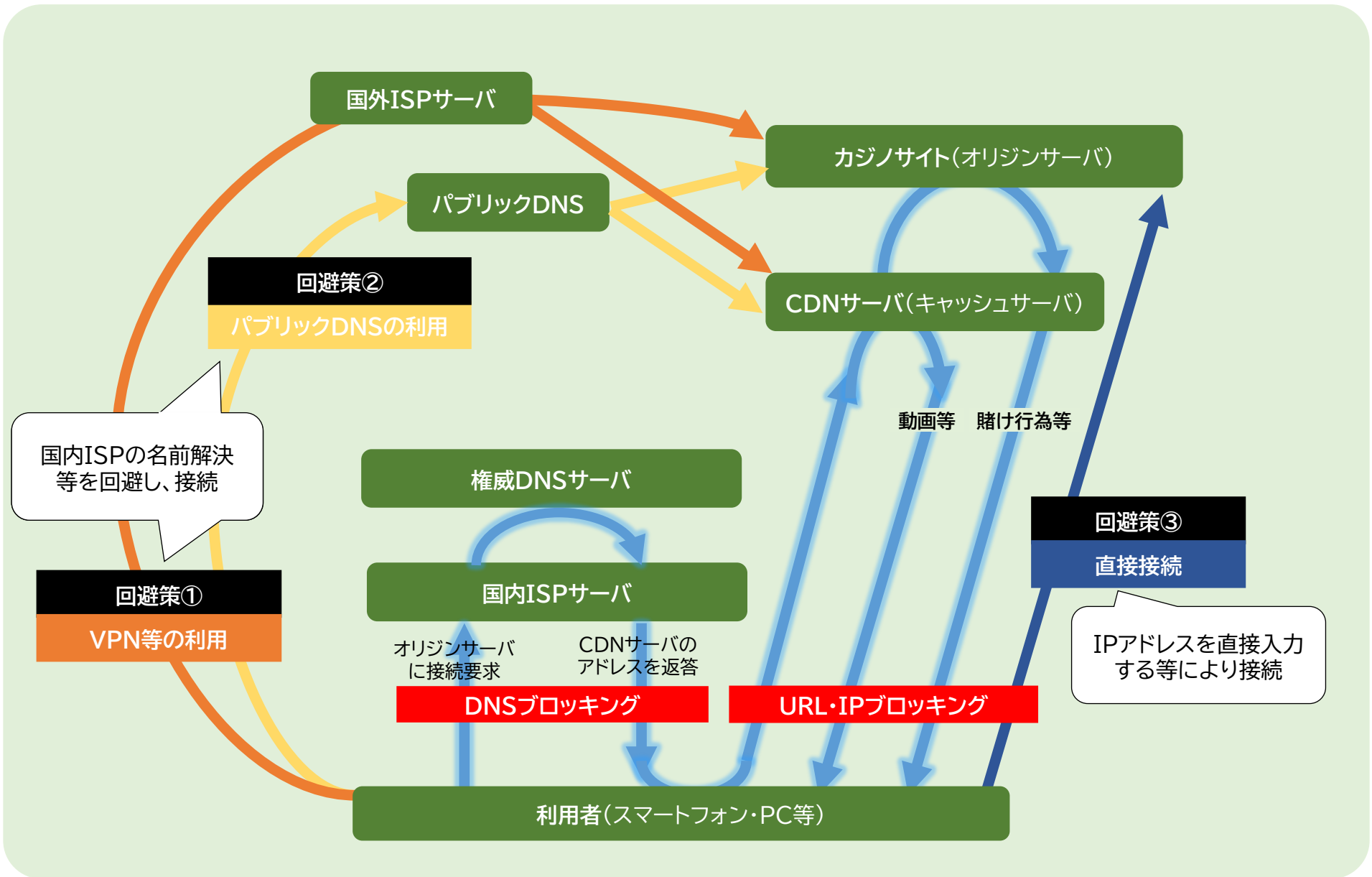


技術的課題の検討

令和7年10月20日
事 務 局

オンラインカジノサイトの閲覧パターンと ブロッキングの主な回避策について【総論・イメージ】

1



	概要・仕組み	特長	課題	考えられる回避策 (留意点)
DNS ブロッキング	ISPのDNSサーバにおいて、利用者のアクセス先が遮断ドメインに該当すると判明した場合、ISPがその接続を遮断する	● 幅広い事業者で実装が比較的容易 ● 児童ポルノサイトのブロッキングで実施済みであり、安定的運用が可能	● オーバərbロッキングのリスクあり	● VPN等・パブリックDNSの利用 (利用率との関係性に留意) ● 直接接続 (カジュアルユーザ対策との関係性に留意)
URL ブロッキング	ISPの設備において、利用者のアクセス先が遮断URLに該当すると判明した場合、ISPがその接続を遮断する	● オーバərbロッキングのリスクが比較的小さい	● 大規模事業者の実装が困難 ● HTTPSに対応できない場合あり(多くのカジノサイトはHTTPS)	● VPN等 (同上)
IP ブロッキング	ISPの設備において、利用者のアクセス先が遮断IPアドレスに該当すると判明した場合、ISPがその接続を遮断する	● 閲覧者側の回避策が比較的少ない	● オーバərbロッキングのリスクが大きい ● 通信障害のおそれあり ● カジノサイト側で回避可能	● VPN等 (同上)

- CDN(Content Delivery Network)とは、閲覧者とオリジンサーバ(配信元サーバ)との間に、オリジンサーバの代わりにコンテンツを配信するキャッシュサーバを介在させ、データを効率よく最適に配信する仕組み。
- CDNの通信の流れは、以下、イメージ図のとおり。
 - ① キャッシュサーバに特定のコンテンツ(コピーデータ)の保存ができる場合
 - ② キャッシュサーバに特定のコンテンツ(コピーデータ)の保存ができない場合
- オンラインカジノの賭け行為を含む双方向のやり取り等は、保存になじまないため、②の流れであると考えられており、CDNは全てのデータを保存しないため、配信行為はCDNで完結しない(CDNは一部の通信を媒介)。
- 違法有害情報への対応について、CDN事業者は、配信内容を把握しないが、利用規約に反する旨の通報があった場合、契約者(配信元)に確認し、情報削除・契約解除・ジオブロッキングなどを行う。主な課題として、①契約解除等をしてもオリジンサーバは残り続けるため、他のCDN利用に流れること、②技術的理由等によりジオブロッキングについて対応できない事業者がいることなどが挙げられる。

※主要CDN事業者へのヒアリング結果に基づく概括的記載。

通信の流れのイメージ図

